

令和 8 年県議会 2 月定例会

農 林 水 産 委 員 会

農 林 水 産 部 長 説 明 要 旨

農 林 水 産 部

## 農林水産部長説明要旨

3月12日(木)10時～

第4委員会室

農林水産部長の川尾でございます。

委員の皆様方には、日頃から農林水産行政の推進にあたり、格別のご理解とご指導を賜り、厚く御礼を申し上げます。

それでは、議案等の説明に先立ちまして、農林水産部における主な取組等について、ご説明を申し上げます。

### (世界農業遺産)

まず、世界農業遺産「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」については、今月25日に有田市において認定記念シンポジウムを開催いたします。

生産者はもとより、地域住民の方々に本システムへの理解を深めていただき、シビックプライドの醸成につなげる機会にしたいと考えてございますので、委員の皆様方に、ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

### (スマート農業の推進)

次に、スマート農業の推進については、1月16日に果樹試験場において、近畿農政局と共催で自走式草刈機や農業用ドローン、害獣捕獲監視装置等の実演・展示会を開催し、県内外から153名の参加がありました。

引き続き、本県農業の省力化や収益性向上のため、スマート農業の推進に取り組んでまいります。

## (農林水産物の販売促進)

次に、農林水産物の販売促進については、国内では先月3日に大阪市において、今年で20回目を迎える「わかやま産品商談会 in 大阪」を開催しました。県内から70事業者が出展し、和歌山を代表するみかんやうめ、もも、かき等の果物や加工品の商談を進めるとともに、本県が誇る世界農業遺産やGI和歌山梅酒等を積極的にPRしました。

また、先月18日から20日まで幕張メッセで開催された「スーパーマーケット・トレードショー にいまるにいろく 2026」には県内21事業者が出展し、スーパーや食品卸等のバイヤーとの商談を行いました。

さらに、現在開催中の「FOODEX JAPAN フーデックス ジャパン にせんじゅうろく 2026」に県内18事業者が出展し、商談を重ねているところです。

海外では、シンガポールと香港、米国の小売店においてみかんの販売促進活動を行うとともに、ドバイの展示会に出展しました。

今後も、県内生産者や事業者の国内外に向けた販路開拓・販売促進に取り組んでまいります。

## (主要果実の生産販売状況)

次に、温州みかんの3月6日現在の系統扱いの販売状況については、出荷量は前年同期比114%の53,556トンで、糖酸のバランスが良く高品質に仕上がっていることから、昨年と同様に市場評価も高く、市場単価は過去5年の最終平均単価を上回る1キログラム当たり324円で、前年同期比81%となっております。

また、昨年末に国から公表された令和6年産の農業産出額では、本県の温州みかん産出額が10年連続で日本一となりましたことを併せてご報告いたします。

今後もJA等関係機関と連携しながら、高品質果実の安定生産と厳選出荷の徹底により、温州みかん産出額日本一の堅持に努めてまいります。

### (クビアカツヤカミキリ対策)

次に、クビアカツヤカミキリについては、先月 13 日に有田市のうめ園において被害樹が確認され、これで県内では 18 市町に被害が拡大しました。

県ではこれまで、被害樹の伐採や地域ぐるみでの一斉防除の取組に対し支援を行うとともに、県民への啓発により早期発見・早期駆除に努めてきたところですが、被害地域は拡大しており、県南部での発生を懸念しているところです。

このため、本年度は被害が確認されていないうめ主産地の生産者を対象とした現地研修や、被害防止ネット被覆の実演研修など、計 3 回の研修会を開催し、延べ 246 名の生産者等に防除対策等について周知したところです。

今後も、被害拡大防止に向け、県民への啓発や生産者に対する技術指導等に取り組んでまいります。

### (鳥獣害対策)

次に、鳥獣害対策については、各種支援策の推進により、昨年 4 月から 12 月末までの間にイノシシ約 7,700 頭、シカ約 11,000 頭など合計で約 2 万 3,000 頭を捕獲するとともに、防護柵については、今年度末までに新たに約 95 ヘクタールの農地に設置される見込みとなりました。

今後も、こうした取組とともに、狩猟者の確保や育成など、農作物被害の軽減に向けた取組を総合的に実施してまいります。

### (家畜伝染病の対応)

次に、家畜伝染病の対応については、高病原性鳥インフルエンザの発生が昨年 12 月から 1 月にかけて増加し、今シーズンは 3 月 6 日時点で国内養鶏場において 14 道府県 21 事例、野鳥においては国内で 102 事例が確認されています。

現在、県内全ての養鶏農家に対して飼養衛生管理の徹底を指導しているところであり、引き続き、家畜伝染病の監視強化に万全を期してまいります。

#### (ジビエの振興)

次に、ジビエの振興については、「わかやまジビエフェスタ」の一環として、1月から先月にかけて、海南市及び上富田町で、延べ11事業者に参加していただき、ジビエのおいしさを発信するイベントを実施し、わかやまジビエをPRしました。

また、ジビエに親しんでもらうため、県内特別支援学校及び小学校15校において、クラフト教室や調理実習等を行う「わかやまジビエ出前授業」を実施しました。

今後も、わかやまジビエの消費拡大に向け、情報発信や販路拡大などの取組を進めてまいります。

#### (農業の担い手の確保)

次に、農業の担い手の確保については、新規就農者の受入を円滑に行い、地域への定着を促進するため、1月15日に和歌山市において、担い手対策や研修農場での取組事例についての研修会を開催し、市町村及びJA等から59名の参加がありました。

引き続き、関係機関等と連携して新規就農者の確保に努めてまいります。

#### (林業の担い手の確保)

次に、林業の担い手の確保については、先月1日に大阪市において、仕事、住まい、暮らしに関する「わかやま林業就業相談会」を開催し、59件の相談を受けたところです。

今後も、積極的に担い手の確保に努めてまいります。

(県有林の森林クレジット取得)

次に、一昨年から進めている県有林における森林クレジットの取組については、今月3日のJ-クレジット制度認証委員会で審査を受け、852トン<sup>シーオーター</sup>-CO<sub>2</sub>のクレジットを取得できる見込みとなりました。現在は、販売告知に向けた準備を進めているところです。

また、これまでの取組から得られたノウハウを広く民間に普及させるため、先月4日に和歌山市で森林組合や林業事業者等を対象とした研修会を開催し、69名の参加があったところです。

引き続き、県内における森林クレジットの取得に向けた取組を本格化させてまいります。

(<sup>ぎょしょく</sup>魚食・<sup>げいしょく</sup>鯨食の普及)

次に、魚食・鯨食の普及については、昨年11月から先月にかけて、県内小中学校等にマルアジや<sup>げいにく</sup>鯨肉を給食用食材として提供するとともに、希望のあった小学校には魚の骨の構造や食べ方等について学習する出前授業を実施しました。

また、1月13日から16日まで県庁内のきいちゃん食堂において「くじらフェア」を開催し、期間限定メニューである鯨の定食及び弁当の提供や、鯨料理のレシピを紹介するパネル展示等を行いました。

今後、魚食・鯨食の普及に努めてまいります。

(海業の推進)

最後に、海業の推進については、1月16日に田辺市で市町や漁業関係者を対象とした勉強会を開催し、53名の参加がありました。水産庁による支援策の説明や、太地町漁協による取組紹介を行い、海業の有用性に関して理解が深められたところです。

今後、地域の水産業の活性化につながる海業の取組を推進してまいります。

## 【付託案件】

続きまして、ご審議いただきます案件等について、ご説明申し上げます。

はじめに、予算案件についてですが、和歌山県議会議案（令和8年度予算）1ページ、議案第1号、「令和8年度和歌山県一般会計予算」では、農林水産部所管分として、総額242億4,143万7千円をお願いしております。

本県の基幹産業である一次産業の振興のため、農林水産業の担い手の確保・育成、生産性の向上、販路開拓などの推進に取り組んでまいります。

次に、債務負担行為として、議案書9ページ、事項32から事項46までの15件をお願いしております。

次に、議案書39ページ、議案第2号、「令和8年度和歌山県農林水産振興資金特別会計予算」では、2億6,216万2千円をお願いしております。

次に、和歌山県議会議案（条例等）76ページからの議案第59号、「令和8年度建設事業施行に伴う市町村負担金について」ですが、農林水産部が所管する5事業分をお願いしております。

以上が今期定例会に提案しております議案の概要になりますが、予算事業等の詳細につきましては、各局長からご説明させていただきます。よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

## 令和8年2月定例会

### 農林水産委員会 予算等説明要旨(農林水産政策局)

農林水産政策局長の川村でございます。

それでは、当局の関係議案についてご説明申し上げます。

まず、令和8年度当初予算についてですが、予算説明書に基づき、主要事業の概要をご説明申し上げます。

(出) <sup>しゅつ</sup>62ページをご覧ください。

一般会計、第6款「農林水産業費」、第1項「農業費」、第1目「農業総務費」31億7,407万3千円のうち、当局関係では、17億8,316万2千円をお願いしています。

農林水産振興課 5「世界農業遺産推進事業」では、世界及び日本農業遺産認定地域の情報発信等の取組や、農業遺産認定をめざす地域の取組を支援してまいります。

また、6「中山間地域等直接支払事業」では、耕作放棄地の発生の防止と多面的機能の維持・確保を目的に、継続して農業生産活動を行う農業者等を支援してまいります。

(出)64ページ、第4目「農業振興費」6億4,272万4千円のうち、当局関係では、2億9,257万2千円をお願いしています。

食品流通課 2「わかやま紀州館運営事業」では、和歌山県アンテナショップを拠点として、首都圏における県産品の情報発信

を強化し、販路拡大に取り組んでまいります。

また、4「和歌山県農水産物・加工食品輸出促進事業」では、海外展示会への出展や輸出向けHACCP等対応施設の整備を支援することで、県内事業者の海外への販路開拓に向けた取組を促進してまいります。

5「わかやまブランド支援事業」では、未利用果実等の活用による新たな加工品開発に向けた食品事業者とのマッチングや専門技術者の育成支援、JAとの協働による大都市圏百貨店でのPR等を実施し、県産品の高付加価値化及びブランド力向上に取り組んでまいります。

(出)69ページ、第3項「農地費」、第2目「土地改良費」では、29億1,766万9千円をお願いしています。

農業農村整備課 8「県営中山間総合整備事業」では、中山間地域において、農道や水路、農地等の農業生産基盤を総合的に整備し、生産性の向上や担い手農家への農地集積・集約、高収益作物への転換を促進してまいります。

続きまして、(出)70ページ、15「県営水利施設等保全高度化事業」では、老朽化した農業水利施設の改修と併せて、施設の維持管理の合理化や省力化のための施設整備に取り組んでまいります。

第3目「農地防災事業費」では、11億7,715万6千円をお願

いしています。

農業農村整備課 2「県営ため池等整備事業」では、洪水や地震時における被害を未然に防止するため、市町と連携しながらため池の改修を積極的に推進し、下流域の安全度向上を図ってまいります。

(出)81ページ、第6項「試験研究費」、第1目「試験場費」では、16億6,199万5千円をお願いしています。

研究推進課 2「試験研究普及調整事業」では、農林水産分野における試験研究の効率的な推進、気候変動など生産環境の変化に対応するための基礎研究等に取り組んでまいります。

3「農林水産業競争力アップ技術開発事業」では、農林水産関係者のニーズを反映した試験研究に取り組み、生産者の所得向上や地域の活性化につながる技術開発を進めてまいります。

(出)82ページ、24「スマート農業技術導入拡大事業」では、スマート農業実践塾の実施などにより、生産現場への導入を推進してまいります。

(出)135ページ、第11款「災害復旧費」、第1項「農林水産施設災害復旧費」では、第1目「農地災害復旧費」及び第2目「農業用施設災害復旧費」を合わせて、15億2,960万8千円を計上しており、災害からの早期復旧・復興に努めてまいります。

次に、債務負担行為についてですが、(雑)18ページをご覧ください。

当局関係では、事項32「令和8年度暖地園芸センター受変電設備改修工事」のほか、事項33から40の9件をお願いしています。

最後に、和歌山県議会議案(条例等)76ページ及び77ページをご覧ください。議案第59号「令和8年度建設事業施行に伴う市町村負担金について」ですが、「県営ため池等整備事業」等5事業の実施に伴う、受益市町からの市町村負担金を計上しています。

以上で当局の説明を終わらせていただきます。

よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

令和8年2月定例会  
農林水産委員会 予算等説明要旨(農業生産局)

農業生産局長の塩路でございます。

それでは、当局の関係議案についてご説明申し上げます。

まず、令和8年度当初予算についてですが、予算説明書に基づき、主要事業の概要をご説明申し上げます。

(出)62ページしゅつをご覧ください。

一般会計、第6款「農林水産業費」、第1項「農業費」、第1目「農業総務費」31億7,407万3千円のうち、当局関係では、13億9,091万1千円をお願いしています。

経営支援課 3「農地流動化支援事業」は、市町村が策定する将来の農地利用の在り方をまとめた地域計画の実現のため、県農業公社が実施する農地貸借等の取組を支援してまいります。

5「和歌山版農地再生活用支援事業」は、地域計画に基づく農地の集積や集約を進めるため、担い手による遊休農地の原状復旧や園地改良などの取組を支援してまいります。

6「強い経営体育成支援事業」は、就農希望者の雇用や優良農地の維持を図るため、農業法人の設立につながる協業化への取組や個人経営体の大規模化への取組を支援してまいります。

(出)63ページ、第2目「農業改良普及費」では、

7億1,290万7千円をお願いしています。

経営支援課 3「農業担い手対策事業」では、国費を活用した新規就農者への資金の交付とともに、国の支援対象となっていない親元就農者に県独自の支援金を交付してまいります。

また、8「農業の担い手育成総合対策事業」では、就農相談会等による就農希望者の呼び込みや各産地における新規就農者の受入体制の強化を支援してまいります。

次に、第3目「農業経営対策費」では、2億4,539万6千円をお願いしています。

果樹園芸課 1「農業活性化支援事業」では、農業の活性化を図るため、国庫補助事業を活用し、生産振興施設等の整備を支援してまいります。

(出)64ページ、第4目「農業振興費」6億4,272万4千円のうち当局関係では、3億5,015万2千円をお願いしています。

果樹園芸課 2「野菜花き産地強化事業」では、高度な環境制御システムの導入や災害に強い園芸用ハウスの整備を推進するとともに、露地野菜の生産性向上と大規模化を図るため、省力化機械等の導入に加え、請負防除のためのドローン操作技能認定取得を支援してまいります。

また、3「次世代につなぐ果樹産地づくり事業」では、スマート農機の導入に適した園内道整備やみかんの新たなマルチ栽培など新技術の導入を推進するとともに、「野菜花き産地強化事業」と同様に請負防除のためのドローン操作技能認定取得を

支援してまいります。

次に、第6目「土壌肥料対策費」では、1億318万4千円をお願いしています。

鳥獣害対策課 2「化学肥料低減対策緊急整備事業」では、肥料価格高騰により影響を受ける農家の負担軽減を図るため、化学肥料使用量の低減に資する農業機械等の導入を支援してまいります。

(出)65ページ、第7目「植物防疫費」では、6億195万9千円をお願いしています。

鳥獣害対策課 1「農作物病害虫対策事業」では、病害虫の発生予察情報の提供やクビアカツヤカミキリの防除を支援してまいります。

また、3「農作物鳥獣害防止総合対策事業」では、捕獲を重点に、防護柵の設置や狩猟者の育成など、総合的な対策に取り組んでまいります。

(出)66ページ、第11目「農林大学校費」では、2億8,281万1千円をお願いしています。

農林大学校において、農業で活躍する人材を確保・育成するため、オープンキャンパスの開催や農業高校との連携を進めるとともに、ドローン操作等の新技術の習得や模擬会社運営による経営体験など実践的な農業教育に取り組んでまいります。

(出)67ページ、第2項「畜産業費」第2目「畜産振興費」では、

2億4,307万7千円をお願いしています。

畜産課 5「わかやまジビエ需要拡大事業」では、わかやまジビエの需要拡大を図るため、県内宿泊施設やレストランでの消費拡大に加え、出前授業での食育を通して、学校給食及び家庭での利用拡大に取り組んでまいります。

また、6「和牛生産流通総合対策事業」では、県産和牛の生産振興と安定供給のため、県産和牛の品質向上、需要喚起を促し、ブランド力の向上や消費拡大を図るなど、生産から流通、販売に至る総合的な対策に取り組んでまいります。

7「畜産施設衛生管理強化支援事業」では、畜産業での衛生管理の強化や省力化、生産性の向上を推進するため、施設整備や機械装置の導入を支援してまいります。

8「和歌山県配合飼料等価格高騰緊急対策支援金事業」では、家畜飼料価格の高騰、高止まりにより、大きな影響を受けている県内畜産農家の経営負担を軽減するため、飼料購入費用の一部を支援することにより、畜産経営の安定に取り組んでまいります。

第3目「家畜保健衛生費」では、9,015万9千円をお願いしています。

畜産課 1「家畜伝染病予防事業」では、高病原性鳥インフルエンザや豚熱など家畜伝染病の発生予防とまん延防止に取り組んでまいります。

4「獣医師確保対策事業」では、獣医学生への修学資金給付及び既卒の獣医師への奨学金等返済支援制度を活用し、獣医

師職員の安定確保に取り組んでまいります。

続きまして、債務負担行為についてですが、(雑)19ページをご覧ください。

当局関係では、事項41「令和8年度公益財団法人和歌山県農業公社事業融資損失補償」のほか、事項42から44の4件をお願いしています。

最後に、特別会計についてですが、(特)6ページをご覧ください。

「農林水産振興資金特別会計」のうち、当局関係では、第1項「農業費」第1目「就農支援費」について、就農支援資金に係る債権管理に要する経費として660万3千円をお願いしています。

以上で当局の説明を終わらせていただきます。

よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

令和8年2月定例会  
農林水産委員会 予算等説明要旨(森林林業局)

技監 森林林業局長事務取扱の小川でございます。

それでは、当局の関係議案についてご説明申し上げます。

まず、令和8年度当初予算についてですが、予算説明書に基づき、主要事業の概要をご説明申し上げます。

(出) <sup>しゅつ</sup>72ページをご覧ください。

一般会計、第6款「農林水産業費」、第4項「林業費」、第1目「林業総務費」では、25億1,578万4千円をお願いしています。

林業振興課 6「低コスト林業基盤整備サポート事業」では、林業事業体が行う作業道や山土場の整備等を支援し、低コスト林業を推進してまいります。

また、8「『わかやまの森』次世代人材確保支援事業」では、就業相談会や高等学校での林業講座等を開催するとともに、就業前研修時における給付金の交付や安全装備の購入等を支援し、担い手の確保を図ってまいります。

11「紀州林業収益向上プロジェクト事業」では、生産性の向上や生産コストの低減に資する林業機械や製材用設備の導入支援に加え、既存設備の高度化を支援し、収益性向上を図ってまいります。

続いて、森林整備課 7「紀の国森づくり基金活用事業」では、生育の悪い人工林の広葉樹林化や、県民参加の森づくりを進めてまいります。

次に、(出)73ページ、第2目「林業振興費」では、1億7,525万5千円をお願いしています。

林業振興課 3「紀州材需要拡大対策支援事業」では、県内外の民間非住宅建築物での紀州材利用を支援するとともに、4「紀州材販路拡大支援事業」では都市部での展示商談会等への出展支援に加え、紀州材の輸出トライアルを実施するなど、紀州材の需要拡大を進めてまいります。

(出)74ページ、第5目「造林費」では、14億7,126万5千円をお願いしています。

森林整備課 5「森林環境保全整備事業」では、植栽や間伐などの森林整備をはじめ、花粉の少ない森林への転換を支援し森林の持つ多様な機能の総合的な発揮を図ってまいります。

また、7「全国育樹祭開催推進事業」では、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するため、第49回全国育樹祭を開催し、お手入れ行事や式典行事などを実施してまいります。

次に、第6目「林道費」では、12億6,407万6千円をお願いしています。

林業振興課 1「林道整備事業」で、県代行による広域的な幹線林道の整備や市町村が実施する林道整備への支援により林

道網の整備を推進し、木材生産コストの低減及び森林整備の促進を図ってまいります。

(出)75ページ、第7目「治山費」では、24億4,107万2千円をお願いしています。

森林整備課 1「一般治山事業」では、集中豪雨や台風等の自然災害により荒廃した山地の復旧及び山地災害の防止のための予防対策等を推進してまいります。

次に、3「県土防災対策治山事業」では、山崩れや治山施設災害等のうち、国庫補助の対象とならない小規模災害の復旧を図ってまいります。

また、5「民有林直轄治山事業負担金事業」では、平成23年災害の国直轄事業に係る負担金をお願いしています。

第8目「県有林費」では、1,813万1千円をお願いしています。

森林整備課 1「県有林経営管理事業」では、民有林先行モデルとして取得する森林クレジットの販売や、県有林の適切な育成・管理に取り組んでまいります。

(出)135ページ、第11款「災害復旧費」、第1項「農林水産施設災害復旧費」では、第3目「林道災害復旧費」及び(出)136ページ、第4目「治山施設災害復旧費」を合わせて、3億5,665万3千円を計上しており、災害からの早期復旧・復興に努めてまいります。

最後に、特別会計について、(特)7ページをご覧ください。

「農林水産振興資金特別会計」のうち、当局関係では、第2項「林業費」、第1目「林業改善資金助成費」及び第2目「木材産業等高度化推進資金助成費」について、林業・木材産業改善資金及び木材産業等高度化推進資金に係る貸付金や債権管理に要する経費として、1億7,244万6千円をお願いしています。

以上で当局の説明を終わらせていただきます。

よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

令和8年2月定例会  
農林水産委員会 予算等説明要旨（水産局）

水産局長の垣内でございます。

それでは、当局の関係議案についてご説明申し上げます。

まず、令和8年度当初予算についてですが、予算説明書に基づき、主要事業の概要をご説明申し上げます。

（出）<sup>しゅつ</sup>77ページをご覧ください。

一般会計、第6款「農林水産業費」、第5項「水産業費」、第1目「水産業総務費」7億484万5千円のうち、当局関係では、5億8,637万9千円をお願いしております。

水産振興課 2「水産業振興事業」では、水産物の流通促進や学校給食への鯨肉の提供、県産魚についての出前授業の実施等により魚食普及等に取り組んでまいります。5「漁業経営セーフティネット構築事業活用促進事業」では、燃油価格等の高騰対策として、漁業経営セーフティネット構築事業に加入する漁業者の積立金の一部を支援してまいります。6「水産業物価高騰緊急対策事業」では、漁業協同組合等の共同利用施設の整備・改修等を支援してまいります。

資源管理課 2「漁船調整事業」では、漁船の登録や検認等を

行うとともに、安全操業の確保を図ってまいります。

次に、第2目「水産業振興費」では、3億9,787万円をお願いしております。

水産振興課 4「栽培漁業センター運営事業」では、県内2カ所の栽培漁業センターを運営し、放流用の種苗を生産することで、栽培漁業を推進してまいります。また、5「次代につなぐ漁村づくり支援事業」では、市町が実施する漁業研修や漁船・漁具等の整備及び操業に必要な資格取得に対して支援し、漁業の担い手の確保・育成に取り組んでまいります。

続いて、(出)78ページをご覧ください。

資源管理課 5「養殖業成長産業化推進事業」では、陸上養殖の適地等調査を実施するとともに、新魚種・新養殖システムの導入により環境変化への対応に取り組む養殖事業者を支援し、養殖業の成長産業化を図ってまいります。また、6「和歌山県養殖用配合飼料価格高騰緊急対策支援金事業」では、飼料価格の高騰、高止まりにより、大きな影響を受けている県内養殖事業者の負担を軽減するため、飼料購入費用の一部を支援するとともに、7「養殖業基礎設備高騰対策支援事業」では、県内養殖事業者が保有する生簀などの基礎的設備の適切な更新を促進するため、その費用の一部を支援することにより、経営の安定化に取り組んでまいり

ます。

第4目「漁業調整費」では、1,682万8千円をお願いしております。

資源管理課 2「漁業・遊漁調整事業」では、秩序ある漁業発展のための調整や、漁業と遊漁等とのトラブルの予防、調整、解決を促進し、海面の円滑な利用を図ってまいります。

(出)79ページ 第6目「漁業構造改善費」では、3億2,943万円をお願いしております。

水産振興課 1「水産基盤整備事業」では、表層型浮魚礁の整備などを推進し、漁場の拡充を図ってまいります。また、4「沿岸漁業の再生を目指した漁場整備事業」では、市町や漁協等が実施する藻場造成等を目的とした取組を支援してまいります。

次に、債務負担行為についてですが、(雑)19ページをご覧ください。

当局関係では、事項45「令和8年度水産基盤整備(和歌山熊野灘地区)、事項46「令和8年度漁業金融制度資金利子補給」をお願いしております。

最後に、特別会計についてですが、(特)8ページをご覧ください。

「農林水産振興資金特別会計」のうち、当局関係では、第3項「水産業費」、第1目「沿岸漁業改善資金助成費」について、沿岸漁業改善資金の貸付金や債権管理等に要する経費として、8,311万3千円をお願いしております。

以上で当局の説明を終わらせていただきます。

よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。